

平成18年5月11日

報道各位

平成18年度 歯の衛生週間にあたって

日本歯磨工業会(会長 高橋達直)では、来る6月4日から始まる歯の衛生週間(6月4日~10日)にあたり、例年どおり、口腔衛生を呼びかける歯の衛生啓発ポスターを制作し、全国にお届けします。

また、口腔保健啓発活動の一環として当工業会が平成8年より行っている「お昼の歯みがきキャンペーン」は、当工業会のホームページ「お昼休み みがこうネット」を本年4月にリニューアルし、より親しみやすく、わかりやすい構成で訴求しています。さらに、歯磨工業会全体のトップページも大きく見直し、会員各社の情報や正しいオーラルケア情報の提供を行っています。本リリースでは、これらの活動内容についてご紹介します。

『歯の衛生週間の沿革』

歯の衛生週間は、国民に対する歯科衛生思想の普及運動として、昭和3年6月4日に「ムシ歯予防デー」の名称で行われたのに始まり、以後、戦時中一時中断しましたが、昭和24年から週間行事となりました。昭和27年には6月4日から10日までの1週間に定められ、昭和33年より「歯の衛生週間」として毎年実施されるようになりました。

『平成18年度歯の衛生週間について』

- ・ 目的：歯の衛生に関する正しい知識を国民に対して普及啓発するとともに、歯科疾患の予防に関する適切な習慣の定着を図り、併せてその早期発見及び早期治療等を徹底することにより歯の寿命を延ばし、もって国民の健康の保持増進に寄与することを目的とする。
- ・ 標語：「ごちそうさま おはしをブラシに 持ちかえる」
(秋田県 五城目町立馬場目小学校 4年 石川茲花 作)
- ・ 本年度の重点目標
「地域に根ざした8020運動の展開」
地域において、8020運動のより実践的な展開を図り、地域の特色を踏まえた生涯を通じた歯の健康づくりを進めるため、「地域に根ざした8020運動の展開」を重点目標とする。

本件のお問い合わせ先

日本歯磨工業会

横川 毅勇

TEL 03(3249)2511

平成18年度 歯の衛生啓発ポスターの配布

日本歯磨工業会（会長 高橋達直）では、来る6月4日から始まる 歯の衛生週間（6月4日～10日）にあたり、例年どおり今年も口腔衛生を呼びかけるポスターを制作し、全国にお届けいたします。

『企画・制作』

厚生労働省、文部科学省、日本歯科医師会及び日本歯磨工業会

『デザイン』 イラストレーター ひこねのりお氏（B3サイズ 多色刷り）

『平成18年度 標語』

「ごちそうさま おはしをブラシに 持ちかえる」

日本学校歯科医会が募集した小中学校の標語の中から

秋田県五城目町立馬場目小学校 4年（当時）石川茲花さんの作品が選定されました。

「8020運動を進めよう」（厚生労働省・日本歯科医師会が提唱する口腔保健の目標）

「一生、自分の歯で食べよう」（日本歯科医師会の標語）

「午後のスタートハミガキから」（日本歯磨工業会の標語）

『配布』

歯の衛生週間に先立ち、このポスター28万枚を作成し、全国の小・中学校をはじめ、保健所、歯科医院、各関係官庁、協力団体などへ配布し、口腔保健の大切さ、毎食後の歯みがきの大切さを呼びかけています。

『活用』

このポスターは、歯の衛生週間だけでなく、「口腔保健の必要性を訴求する年間ポスター」としてご活用をお願いします。

「歯の衛生週間（6月4日～10日）」後は、下部の日付部分を切り取って、ご使用いただけるレイアウトにしております。



「お昼の歯みがきキャンペーン」について

背 景

当工業会では、お昼の歯みがき率を向上させるために、平成 8 年度より「お昼の歯みがきキャンペーン」を独自に展開し、平成 12 年度からは第 2 期として、新たにインターネット上にキャンペーンのためのホームページ「お昼休み みがこうネット」を開設し、お昼の歯みがきを推進しています。

キャンペーンホームページ「お昼休み みがこうネット」を活用した企画展開

「お昼休み みがこうネット」リニューアル

日本歯磨工業会では、オーラルケアの啓発情報をはじめ、キャンペーンや標語募集などの情報発信を「お昼休み みがこうネット」で積極的に行っています。本年 4 月には、「お昼休み みがこうネット」から発信する情報を、より親しみやすく、わかりやすくするため、コンテンツを再構成しイラストをふんだんに活用するなどデザインレイアウトをリニューアルしました。

また、全体のトップページは、歯の衛生週間ポスターや「日本歯磨工業会のご案内」「お昼休み みがこうネット」のそれぞれの役割をわかりやすい構成に改良しました。

【お昼休み みがこうネット <http://www.hamigaki.gr.jp/> コンテンツ】

はみがき学校

「はみがき学級」「はみがき Q & A」「フッ素のお話」の 3 つのコンテンツから構成されています。お昼の歯みがきの大切さや、フッ素の働きなど歯みがきに関する疑問にお答えします。6 月には、新コンテンツを追加する予定です。

OL カフェ

「お昼のはみがきリーダーズクラブ」「こんな話知ってる？」の 2 つのコンテンツからなり、お昼の歯みがき率が高い、OL へ向けた情報を提供しています。

ファミリー広場

「パパ・ママ・キッズ歯育て講座」「はみがきゲーム」の 2 つのコンテンツがあります。「パパ・ママ・キッズ歯育て講座」は、新米パパ・ママを対象にオーラルケアに関する充実した情報を提供しています。秋には、新コンテンツを追加する予定です。

「お昼の歯みがき標語募集キャンペーン」

歯の衛生週間に合わせ、「歯をみがくことの大切さ」をテーマに標語を募集し、お昼の歯みがきの励行と歯磨の重要性を啓発します（4 月 1 日～6 月 30 日の 3 ヶ月間で展開中）。

今年は昨年と同様に、大人だけでなく小学生の部・中学生の部も設けて子供たちにも広く応募を呼びかけます。応募作品を厳正に審査の上、大人の部では最優秀賞には賞金 10 万円のプレゼントの他、優秀賞、ユニーク賞、佳作など各賞に賞金もしくは賞品などを進呈。選ばれた入賞作品は、当工業会の標語として幅広く活用していきます。

< 日本歯磨工業会トップページ >



< お昼休み みがこうネットトップ >



平成18年5月11日

報道各位

平成18年度「歯の衛生週間」にあたって
日本歯磨工業会会長 高橋 達直

本年も6月4日から10日まで、「歯の衛生週間」が国民的行事として全国的に展開されます。本週間は、歯の衛生に関する正しい知識を国民に普及啓発するとともに、歯科疾患の予防に関する適切な習慣の定着を図り、また、その早期発見及び早期治療等を徹底することにより、口腔保健の向上をはかり、もって国民の健康の保持増進に寄与することを目的としています。

日本経済は停滞状態を脱して巡航軌道に乗ったとの評価がなされて、個人消費においても確実な回復傾向が見られ、長く続いていたデフレ状態から抜け出した感があります。しかしかつての景気回復局面とは違って、一人一人がその価値観に従って商品を取捨選択する時代となったと言えます。世界的にクローズアップされている環境問題や安全性への消費者の意識の高まりは市場構造にも大きな質的变化をもたらしている例もあります。日用品市場においても変化している消費者の関心・要求に応じていくことが、個々の企業の成長と業界全体の発展の最重要な要素となっています。こうした中、当工業会の歯みがき類の平成17年度出荷統計では中味総量は前年比で103.6%、金額で102.4%と前年を上回り、特に液体歯みがき・洗口液の出荷金額は113.3%と大きく伸張致しました。これは会員各社が社会の流れと消費者の意識変化を的確に把握したマーケティング活動と研究開発に努めてきた成果であると判断しています。

一方、健康で快適な生活を送るための厚生労働省の提唱による「21世紀における国民健康づくり運動（健康日本21）」に関する法律に基づいて設定された歯の健康に関する8020運動が掲げた具体的な目標を達成するため、日本歯磨工業会はオーラルケアに関する諸情報の発信を通じて社会に貢献する努力を積極的に重ねてまいりました。本年も引き続き適切なオーラルケア習慣を国民に提案して行きたいと考えています。

当工業会は、設立以来、口腔衛生思想の普及・啓発を最重点テーマとして活動していますが、今年も「歯の衛生週間」の意義と目的を周知するための広報活動を国民一体となって展開してまいります。その活動の一環として、例年どおり、厚生労働省、文部科学省、日本歯科医師会等と協力して、「歯の衛生啓発ポスター」を制

作いたしました。このポスターは平成18年度の標語である『ごちそうさま おはしをブラシに 持ちかえる』をスローガンに掲げており、「歯の衛生週間」に先立ち全国の小・中学校をはじめ、歯科医院、保健所、各関係官庁、協力団体、会員各社など全国1100ヶ所へ約28万枚を配布し、口腔保健の必要性、毎食後の歯みがきの大切さを呼びかけています。また、歯の衛生に関する正しい知識の周知徹底のために、生活者向け啓発パンフレット及び養護教諭、保健師の方を対象としたテキストを配布すること等を通じて、全身の健康を保持する上での歯の健康管理の大切さについて理解を深めていただく活動を展開いたします。

そして、当工業会は口腔保健啓発活動として平成8年度から昼食後の歯みがき習慣を促進するための「お昼の歯みがきキャンペーン」を継続展開しておりますが、平成12年度から開設したインターネットホームページにおいて、積極的な情報発信に努めた結果、累計で約240万件(平成18年3月末現在)のアクセスを得て、国民に対して正確で的確なオーラルケア情報の提供を行なってまいりました。今年度からは歯の健康のための情報を、老若男女を問わず、より親しみやすく楽しく理解できるコンテンツにリニューアルして、「はみがき学校」・「ファミリー広場」・「OLカフェ」などのサイトに整理して、ホームページを通じた啓発活動の一層の充実を図ります。さらに、歯をみがくことの大切さをテーマにした「標語募集」などのキャンペーンを実施して、幅広く国民の皆様に関心を持って頂ける活動を展開致します。キャンペーンに合わせて継続的にアンケート調査も実施しており、歯みがき行動の実態の調査にも努めています。今年度からはこれらの情報も活用し、積極的に「歯の衛生週間」のバックアップ活動を展開して盛り上げを図っていきます。

当工業会は、今後とも口腔衛生の普及啓発を社会的使命と考え、国民全体の健康な生活に寄与するための活動を推進してまいりますので、皆様方には格別のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

～ 歯磨工業会ホームページ上のアンケート結果より～

お昼に歯をみがかない理由

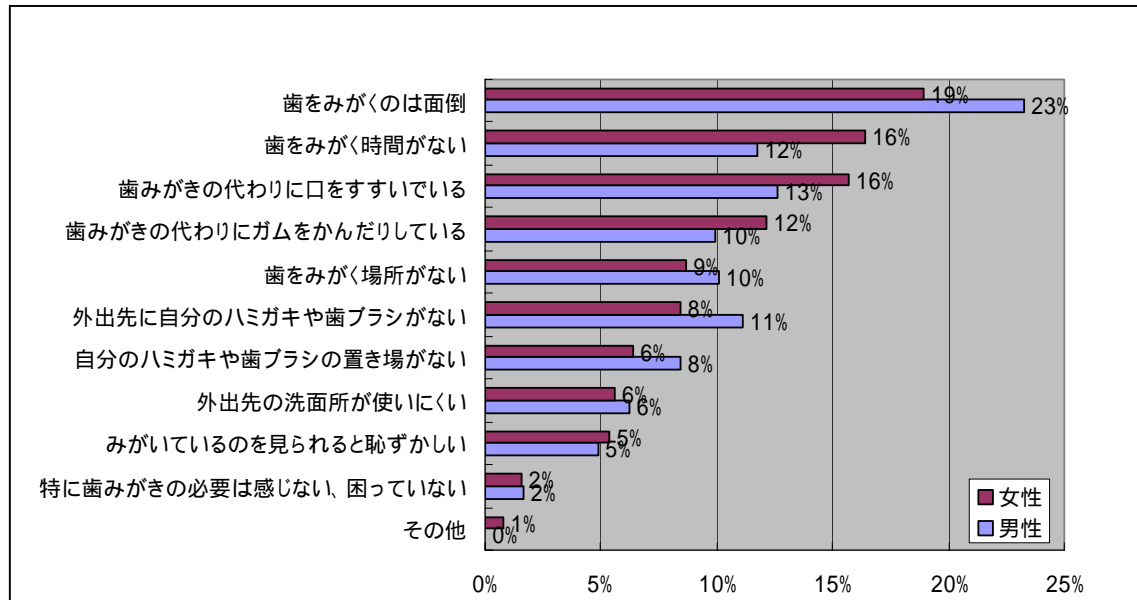
お昼に歯をみがかない理由ベスト5

- 1位 「歯をみがくのは面倒」(20%)
- 2位 「歯みがきの代わりに口をすすいでいる」(15%)
- 3位 「歯をみがく時間がない」(15%)
- 4位 「歯みがきの代わりにガムをかんだりしている」(11%)
- 5位 「歯をみがく場所がない」(9%)

男女別の特長

- ・女性は「歯みがきの代わりにガムをかんだりしている」「歯みがきの代わりに口をすすいでいる」「歯をみがく時間がない」の理由が男性を上回る。
- ・男性は「外出先に自分のハミガキやハブラシがない」「自分のハミガキやハブラシの置き場がない」という理由が女性を上回る。

【男女別お昼に歯をみがかない理由】



調査対象は、歯磨工業会のホームページ上のアンケートに答えていただいた全国の10代～60代以上の2503名。調査機関は、2005年4月～6月。インターネットによる回答選択方式による。

歯磨剤に関する講師派遣制度について

歯科衛生士会及び歯科衛生士学校等での特別授業・講演のご紹介

我が国が高齢化社会を迎え、口腔保健の重要性は「健康日本21・8020運動」に見られますように、医療福祉制度の視点からも社会に広く認識されるようになりました。日本歯磨工業会（会長 高橋達直）では設立以来、日々の健康な生活のための口腔保健に関する啓発情報の発信を通じて社会に貢献する活動を推進してまいりました。具体的には毎年「歯の衛生週間ポスター」の作成と全国配布、一般消費者向けの「歯磨ハンドブック」、養護教諭等を対象にした啓発誌「歯を守る」の発行と配布、ホームページを活用した広報活動などを行っております。

これらの活動の他に、当工業会の技術委員会が中心となって歯磨剤の有用性について、関連する学会・シンポジウム等への参加・講演、口腔保健の専門家である歯科衛生士会や歯科衛生士学校での特別授業・講演等を実施してきました。特に、この特別授業・講演は人々に口腔保健の指導をなせる専門家の方々に歯磨剤の歴史、成分、機能、有用性、安全性などに関して正確な情報を提供することと、当工業会が発信した論文・啓発冊子についての質問に対応するために平成5年7月から開始いたしました。当初は技術委員が勤務する会社の業務時間を割いて交替で対応していましたが、講演依頼が多くなったこともあり、平成6年10月から専任講師に委嘱して、対応してまいりました。平成5年の開始以来、現在（平成18年4月末）までに延べ179回となっております。

現在の専任講師はオーラルケアに関する豊富な経験と知識をお持ちであり、実施内容については大変に好評を得ています。毎年、カリキュラムの中に組み込んで定期的に特別授業を行って頂いている歯科衛生士学校がある程です。歯磨剤についての専門的な著書や正確な情報が少ない中で、最新の技術、知識などを提供させて頂くことは意義深いことと考えております。

また、特別授業・講演には前述の「歯を守る」の他に、技術委員会が歯科専門家向けに編集した「歯磨剤の科学」を使用しております。「歯磨剤の科学」の初版は平成8年ですが、適宜適切な改訂を行い現在は第4版となっております。内容は「歯磨剤の概論」「歯磨剤の基本的機能」「薬用歯磨剤の効果」「歯磨剤の安全性について」等です。歯科医師、関連大学の先生方からも提供依頼がある高度な内容となっております。

当工業会では、歯の健康・口腔衛生の重要性と歯磨剤の有用性を専門家の方々に理解を深めて頂くために、今後も講師派遣制度を継続実施してまいります。

< 本件のお問い合わせ先 > 日本歯磨工業会 横川 毅勇

報道各位

保健指導者[養護教諭、保健師] 向けテキスト

「歯を守る—健やかな生活は口腔保健から」について

日本歯磨工業会(会長 高橋達直)では、オーラルケアに関する情報冊子や書籍の発行と配布、標語募集などのキャンペーン、さらには、インターネットのホームページをとおして、さまざまなオーラルケアの啓発情報を発信しています。

中でも、保健指導者向けテキスト「歯を守る—健やかな生活は口腔保健から」は、日頃、一般の人々に向けて保健衛生の指導にあたっている養護教諭、保健師のみなさまに、全身の健康の維持増進とそれに関わる口腔保健の重要性、さらにはオーラルケアの具体的なあり方(保健剤、衛生用具、効果的な歯みがき方法等)などについて、理解と認識を持っていただくことを目的に制作し、たいへん好評を得ています。

「歯を守る—健やかな生活は口腔保健から」は平成7年に発行しましたが、その後も適切な改訂を行い、オーラルケアに関する最新の情報を加え、より皆様のお役に立つテキストとして毎年、約3千部を配布して参りました。主な配布先は全国の小中学校の養護教諭、保健師、歯科衛生士学校の学生等ですが、これらの方々が人々に口腔保健の指導をされる際の有益な情報を分かり易く掲載しております。本テキストの概要は、下記のとおりです。

記

- | | |
|-------|---|
| 書名 | 「歯を守る—健やかな生活は口腔保健から」 |
| 編集、発行 | 日本歯磨工業会 |
| 体裁 | A4版 29頁、イラスト・図版多用 |
| 内容 | (保健指導者に活用していただきやすい具体的内容等を記載)
1.お口の健康と全身の健康とのかかわり
2.歯科疾患は予防できる病気
3.セルフケアとプロフェッショナルケアで口腔の管理を
4.セルフケアの助っ人…保健剤としての「歯磨剤」の機能と効果
5.効果的な口腔清掃のしかた…乳児から老人までの口腔清掃
6.歯磨剤Q & A |

<本件のお問い合わせ先> 日本歯磨工業会 横川 毅勇 TEL03(3249)2511

日本歯磨工業会 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町2-4 三報ビル7F

TEL03-3249-2511 FAX03-3249-2513 <http://www.hamigaki.gr.jp/>